



女性協議会

東北地連 女性協定期大会 東北版女性のつどい

11月23日(土)～24日(日)の日程で「東北地連女性協議会第四回定期大会」と「第六回東北地連女性のつどい」を開催しました。

合員に東北の現状を伝える場として有効であったことなど、活発な意見交換が行われました。

また二日目の定期大会では、各単組から冬の一時金の闘争経過など報告がありました。職場環境については、育休や育児時短を積極的に活用できない現状が

ら、代休や有給も含めて出来るだけ権利を行使し制度自体を広めていく必要があることなどの意見が出されました。

このほか、「パワハラや不当な評価制度にどう対応していくか」「団交の席で録音は可能か?」「面接とかも録音すべき?」など活発な意見交換がなされました。

東北地区はまだまだ復旧の途中ですが、女性一人一人がいきいきと働ける職場

●女性協 URL
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>

中四国地連 女性協定期大会 来年の「女性のつどい」へ

11月30日(土)広島市で「中四国地連女性協議会定期大会」が開かれ、中四国女性協担当の広島四局の労

組、西日本放送労組、南海放送労組から一三人、そして中四国地連から三人のあわせて一六人が集まりました。

意見交換では、勤務制度についての報告が相次ぎました。広島局からは、代休消化に関する問題として「代休消化がすすめられている。過去三年の代休は、清算で一括清算」「代休消化ができない場合は清算す

るが、マネージャー職以上は三ヵ月以内に消化できない場合は清算なしなど、厳しい条件をつきつけられている」といった内容です。

このほかの意見では、「時間年休がとれるようになって、引き続き小学3年生までの育児時短を求めている」「女性アナの採用が契約になってきている」「東京などへの転勤がない代わりに年収を下げる」といった

本社限定コースが未だ撤回されない」「派遣社員が働きたい」「派遣社員が働きたい」「派遣社員が働きたい」「派遣社員が働きたい」

誰でも情報が発信できる時代。今後の地上波テレビのあり方など「ニューメディア」という視点にも関心が高いのではという意見もありました。



女性が安心して働ける職場をめざして

東北地連女性のつどい



意図交換では、勤務制度についての報告が相次ぎました。広島局からは、代休消化に関する問題として「代休消化がすすめられている。過去三年の代休は、清算で一括清算」「代休消化ができない場合は清算す

るが、マネージャー職以上は三ヵ月以内に消化できない場合は清算なしなど、厳しい条件をつきつけられている」といった内容です。

このほかの意見では、「時間年休がとれるようになって、引き続き小学3年生までの育児時短を求めている」「女性アナの採用が契約になってきている」「東京などへの転勤がない代わりに年収を下げる」といった

本社限定コースが未だ撤回されない」「派遣社員が働きたい」「派遣社員が働きたい」「派遣社員が働きたい」

誰でも情報が発信できる時代。今後の地上波テレビのあり方など「ニューメディア」という視点にも関心が高いのではという意見もありました。

て機運を盛り上げていくことを確認しました。(中四国地連女性協・前議長 中

国放送労組・若林弘美)